

トップアスリートは、どんな幼少期を過ごして来たのか？  
多様なスポーツ体験が強いアスリートを育てる！

# オリンピックから学ぶ Jr期のスポーツの 取り組み方・支え方

参加費  
無料

2021年 **11月7日** **日** 10:00-12:00

- ① 三条市役所栄庁舎 ホール(駐車は栄保健センターをご利用ください) 先着30名
- ② オンライン(ZOOM)※申し込み後、URLをお送りします

## 内容

昨今のスポーツ界は、幼少期からの単一競技を専門的に行う風潮がありますが、その競技特性のみ育ち、運動能力全体が養われないという問題が発生しています。  
運動能力を高め、様々なスポーツに適応する為には、多様な運動経験が必要です。  
今回は、トップに上り詰めたアスリートがどんな小中学生期を過ごしてきたのかをディスカッション形式でお聞きし、指導者や保護者がジュニア期の子ども達をどう接するべきかヒントを探ります。



## パネリスト

東京2020五輪カヌースプリント日本代表

**当銘 孝仁 選手**(三条市スポーツ協会所属)

中学時代はハンドボール部。高校からカヌースプリントを始め、学生時代から日本代表選手として活動。  
2024年パリ五輪メダル獲得を目指す。



カヌースラローム2019年強化指定選手

**佐伯 雄太郎 選手**(キャプテンスタッグ(株)所属)

中学から本格的にスラローム競技を始め、U23代表を始め、日本カヌースラローム界トップクラスの選手として競技を続けてきた。



ご予約  
お問い合わせ

三条市スポーツ少年団 事務局

TEL: 0256-45-1150

お申込みは  
右記QRより  
11/1(月)まで

